

ユニバーサル社会の推進

平成24 年6月26日／人権・同和対策課

人間が人間として尊重され、誰もが暮らしやすいと感じるユニバーサル社会の実現を、鳥取県から目指します。

【方 針】

ユニバーサル社会の実現のため、まずは県庁内でユニバーサルデザインの理解を深め、将来的には市町村、民間企業を巻き込んだ県民運動を展開して、鳥取県内に広くユニバーサルデザインを浸透させる。

※「ユニバーサルデザイン」（UD）

すべての人が等しく社会の一員として尊重されるべきであるという考え方を元に、障がい、年齢、言語などの人の差異に可能な限り無関係に、誰でも利用しやすいように製品、建物、環境などをデザインすることであり、社会参加の機会や個人の尊厳を保障するための基礎的な条件整備に必要な考え方。

【取 組】

○県庁のUD推進 平成24年度の取組

○UD研修を企画し単位制研修に登録して職員への普及と啓発を図る。

取組状況：鳥取県本庁舎、西部総合事務所、日野総合事務所で計8回実施（6月まで）
一回の受講人数、15名～18名程度
約120人に対し研修を実施した。

応募状況：各研修が定員が15名に対し20名程度の応募がある。

今後の取組：8月以降の予定として、一月に3日、各2回の実施を続けていく予定。

○カイゼン推進員研修にUDのテーマを盛り込み、カイゼン活動での取組を促進する。

○各課のカイゼン活動のテーマ選定にもUDの考え方を取り入れてもらい、UDの浸透を図る。

〈長期的な取組〉

（H23～H24）

・UDの視点で執務環境、業務方法の問題の洗い出し

（H25以降）

・庁内のUD推進体制の整備
・UD推進指針の策定などを検討

職員の心にUDの精神が根付き、施策や県民へのサービスの中にUDの精神が反映され、実践に結びつく取り組みにつなげていきたい。

○鳥取県人権施策基本方針の着実な推進

基本方針に沿って、市町村や民間企業などと連携・協働し、同和問題、男女共同参画、障がいのある人など様々な人権分野における取組を推進していくことが、ユニバーサル社会の実現につながる。

ゴール

障がい者対策にとどまることなく、身体特性、性差、年齢、言語などの差異を超えて、物づくりなどのハード面はもとより、社会の仕組みや制度づくりのソフト面、心のUDも含めて地域社会全体にUDの理念が浸透したユニバーサル社会の実現